

第3回 気象情報の産業利用促進のためのワークショップ 議事概要

日時：平成28年3月8日（火）14：00～16：00

場所：気象庁 講堂（東京都千代田区大手町1-3-4 気象庁2階）

1. 開会挨拶

気象庁 渡邊 良 総務部長

2. 話題提供

1) 「エアコン需要予報への取り組み」

ジーエフケー マーケティングサービス ジャパン株式会社 宮本 徹 氏

2) 「農業 IoT と気象データの産業利用」

ベジタリア株式会社 島村 博 氏

3) 「需要予測の精度向上・共有化による省エネ物流プロジェクト」

一般財団法人日本気象協会 中野 俊夫 氏

3. ディスカッション

話題提供者からは、商品需要や作物の収穫時期・量の変動には気象要素が大きな影響を与えることや確率的な情報が有用であることが指摘された。

また、参加者からは、気象庁が提供する情報を加工することは気象事業者以外の事業者にとって技術的なハードルが高い、コンサル等の事業に気象技術を付加することで事業価値を向上させるという考え方が重要である等の意見が挙げられた。

4. 閉会挨拶

一般財団法人気象業務支援センター 羽鳥 光彦 理事長